

「ピラサ」とは、アイヌ語で「広げる」を意味する言葉です

昔のアイヌの人たちは、野山で狩りをしたり、川や海で魚や貝をとったり、季節ごとに実る木の実や山菜をとって豊かに暮らしていました。今回の「ピラサ」は食べ物に関するクイズを特集しました。

クイズが難しいときは、学校にある副読本の「アイヌ民族:歴史と現在 未来を共に生きるために - 」を使って調べてみるといいですね。では、挑戦してみましょう。

アイヌ文化のクイズに挑戦! ~食べ物編~

Q1 アイヌ語で「溶ける食べ物」を意味する次の写真の料理は何と申すでしょう。

ルイベ
トノト
シト



Q2 アイヌ語で「具材がいろいろ入った鍋」を意味する次の写真の料理は何と申すでしょう。

ラタツケッ
サヨ
オハウ



Q3 昔のアイヌの人たちは冬に食べ物に困らないようにするため、保存食をつくる工夫しました。次の写真は夏に採ったウグイを保存した様子です。どのような方法で保存食にしたのでしょうか。



クイズの解答は裏面に掲載しています。ご覧ください

~ アイヌ文化を体験できる学習講座 ~

アイヌ文化を体験できる学習講座があります。ここではアイヌの人たちの文化をやさしく学ぶことができる学習講座を紹介します。

アイヌ用語学習講座

内容 アイヌの人たちの文化に関連する文化財を理解するための基本的な用語を学びます。

会場 平取町、むかわ町、登別市、苫小牧市

アイヌ民俗技術伝承講座

内容 木彫り、刺しゅう、織物、山菜の保存や加工、伝統料理を体験できます。

会場 むかわ町、苫小牧市、釧路市（阿寒湖畔）

アイヌ民俗芸能講座

内容 アイヌ古式舞踊、ムックリなどの楽器演奏、歌謡を体験できます。

会場 むかわ町、登別市、釧路市（阿寒湖畔）

アイヌ文化に
触れてみよう!!



アイヌ語 日常会話

アイヌ語による日常会話をシリーズで紹介します。
本書におけるアイヌ語表記は、(社)北海道アイヌ協会「アコロ・イタク アイヌ語テキスト 1」(1994)を参考にしています。
(アイヌ語は地方によって発音が異なります)

～ 昼のひととき ～

- * イランカラapte
irankarapte こんにちは。 (現在は一般的に使われる挨拶です)
- * トカナイペ ヘマンタ ア・エ?
tokapaipe hemanta ae? 昼食は何を食べましょうか? (平取地方)
- * ア・マ・チェプ ケ ルスイ
ama cep ku=e rusuy 焼き魚を食べたいです。 (平取地方)
- * ヘマンタ エ・ク ルスイ ヤ?
hemanta e=ku rusuy? 何を飲みたいですか? (平取地方)
- * ワッカ ク・ク ルスイ
wakka ku=ku rusuy 水が飲みたいです。 (現在は一般的に使われています)

カルタを つくろう

今回、紹介する「アイヌ語かるた」は、「力行」の札です。
ぜひ、声に出して、読み札を読んでくださいね。



カムイフム アシ
kamuy hum as
雷が鳴る



キムンカムイ チェプコイキ
kimun kamuy cep koyki
熊が魚をとった



ク・モコン ルスイ
ku=mokor rusuy
私は眠りたい



ケラ・アン フミ
keraan humi
おいしいなあ



コタンコロ カムイ ク・ヌカラ
kotan kor kamuy ku=nukar
私は、シマフクロウを見た

クイズのこたえ

ほかの選択肢はこんな意味です

Q1= ① ルイベ

Q2= ③ オハウ

Q3= 一度焼いてから乾燥させた。

Q1 トノト=酒、シト=だんご

Q2 ラタンケブ=混ぜ煮、サヨ=おかゆ

Q3 この他に、煙で「くん製」にする方法もあります。

【参考資料】

「アイヌ民族:歴史と現在 未来を共に生きるために-」 (財)アイヌ文化振興・研究推進機構

「アイヌの人たちとともに-その歴史と文化- 『アイヌ語ラジオ講座テキスト』」 (財)アイヌ文化振興・研究推進機構

「アコロ イタク アイヌ語テキスト1」 (社)北海道アイヌ協会

「ボン カンピソシ アイヌ文化紹介 1 はなす・3 食べる」 道立アイヌ民族文化研究センター

「聞き書アイヌの食事」 (社)農山漁村文化協会

「萱野茂アイヌ語会話-初級編-」 カムイトゥラノ協会

イラスト sayo 写真 (財)アイヌ文化振興・研究推進機構 協力 道立アイヌ民族文化研究センター